

ホテルサンバレー那須

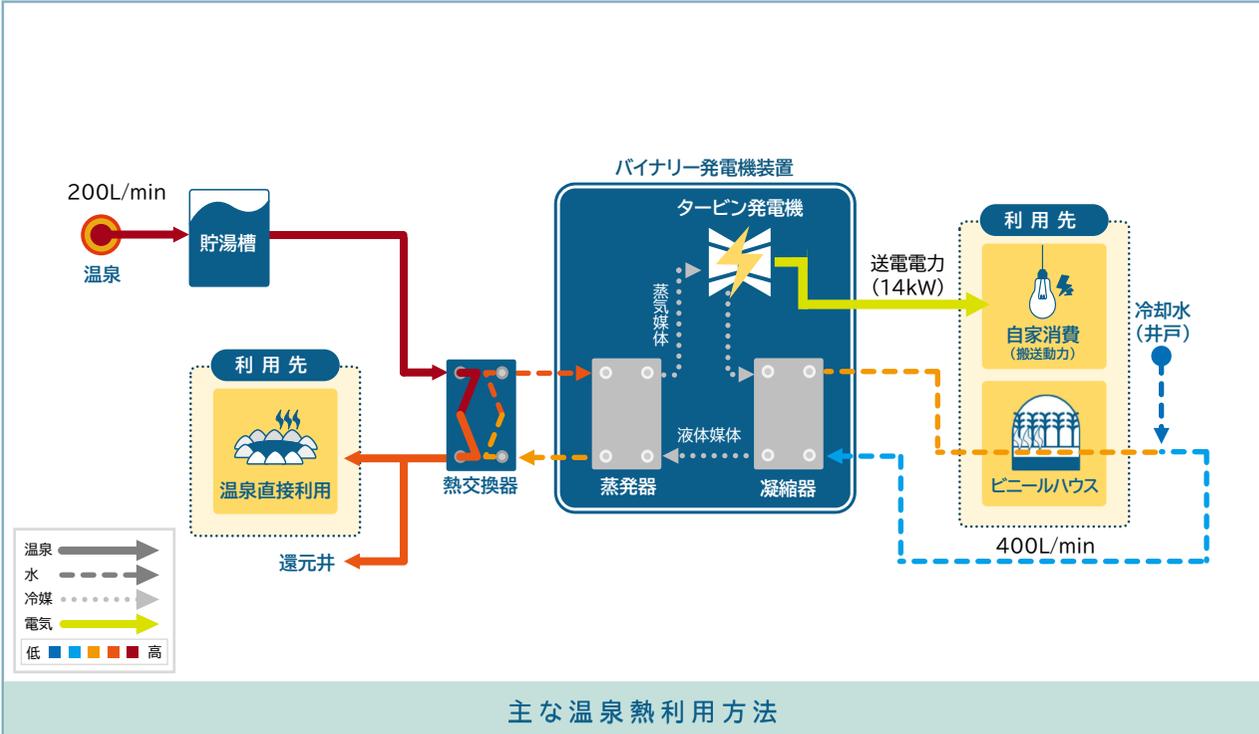


概要

ホテルサンバレー那須の自家源泉敷地内に関東初のバイナリー発電所(発電規模20kW、発電能力14.5kW)を整備している。バイナリー発電に利用し、温度が低下し浴用に適した温度となった温泉をホテルに供給している。なお、発電電力は発電装置で使用する冷却水の搬送動力で消費している。

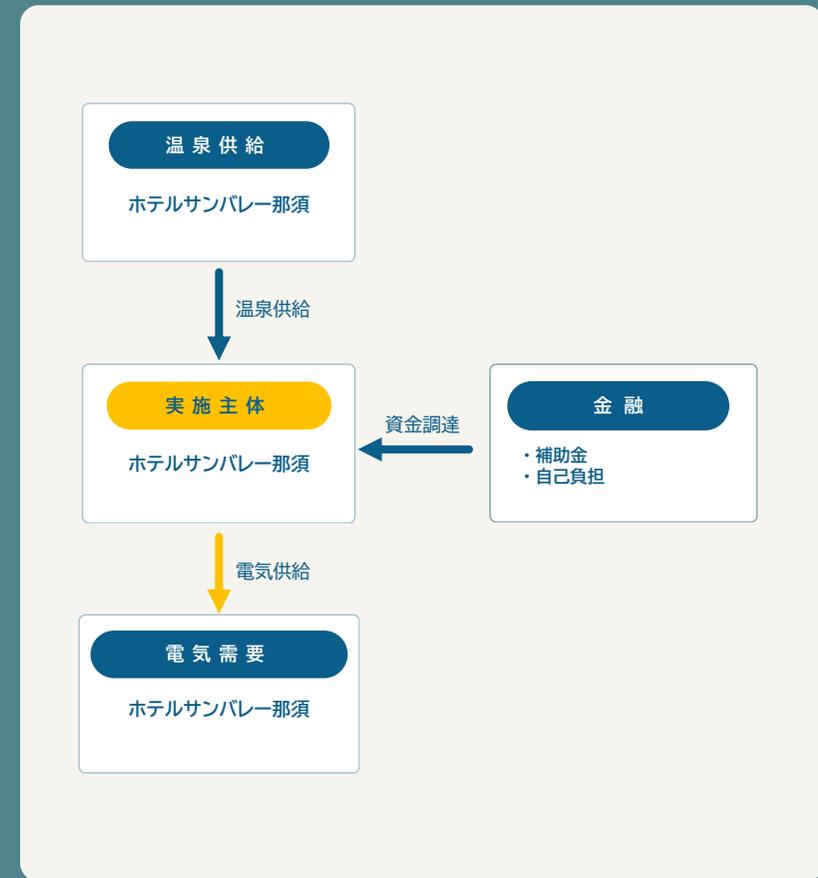


泉質	塩化物泉
熱利用温度	78℃
利用温泉	既存温泉
総事業費	4,500万円(一部補助金あり)



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。
 ※ 1: CO₂排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値です。

実施体制



事業検討の流れ

